

ともしび通信

Merry Christmas THE LOVE OF GOD IS ENDLESS

愛は決して絶えることはありません(聖書)



クリスマス コンサート

12月 9日(土) PM 1:30~3:00 <開場 1:00> **入場無料**

- カリス 弦楽四重奏団 -

岩崎 真弓(1st.ヴァイオリン)、並木 信厚(2nd.ヴァイオリン)、
岩崎 龍彦(ヴィオラ)、吉田 博子(チェロ)による 弦楽カルテット

※ 詳しい情報は、教会 WEB サイトをご覧ください

こどもクリスマス会
12月 17日(日)
PM 2:00~3:30

クリスマス 特別礼拝
12月 24日(日)
AM 10:30~12:00

イブ★キャンドル礼拝
12月 24日(日)
PM 6:30~8:00



町田バプテスト教会
町田市つくし野 2-31-4 【TEL】042-796-3822

集会のご案内

教会の活動はホームページでもご紹介しています。
<http://goodnews194.com>

日曜礼拝

多忙な日々の中で、うつむき加減になっている顔と心。天を仰いで生きる元気を取り戻して下さい。

毎日曜

I 礼拝 10:30~11:50

II 礼拝 16:00~17:00

(12/17-31 までII 礼拝は
お休みさせていただきます)



教会学校 (CS)

幼児から大人のクラスで聖書を学んでいます。ジョイジョイサンデーを月1回、開催しています。

毎日曜 9:00~10:00

毎月1回開催

ジョイジョイサンデー

(こども・中高生対象)



水曜礼拝・祈り会

週の半ばの夜、静かに礼拝して、メッセージに耳を傾けます。聖書を順番に学んでいるので、聖書を知りたい方に最適です。

毎水曜
19:30~21:00



壮年会

壮年会では聖書の学びと、賛美集会や教会カフェ、日帰り温泉などサークル的な活動もあります。

毎月第2日曜
13:30~15:00



婦人会

日曜午後の集いは個々に抱えている課題を話しあい、喜びも困難も分かち合う、穏やかなひと時です。

毎月第2日曜
13:30~15:00



青年会

大学生から社会人まで、月1回、ともに集まり賛美をし、語り、励まし合い、祈りあう集いの時です。

毎月第2日曜
13:30~15:00



子育てサークルハンナの会

ハンナの会は、子育てに疲れたり、悩んでいるママに元気を与える会です。お子さまと一緒に楽しむ時間もあります。昼食付き。

毎月第4火曜
10:30~13:00



トールペイントサークル

賛美とメッセージのひととき。花を描きながら心を解放するひととき。お茶を飲み、語らうひととき。

毎月第1水・金
10:00~12:30



木曜婦人集会

家事、育児、仕事に忙しい女性たちがありのままの自分でいられる場所。希望と勇気が与えられる時。

毎木曜
10:30~12:00
(第2木曜は婦人礼拝)



・どの集会も参加自由です。お気軽にお越しください。
・質問や相談ごとは、どんなことでもお尋ねください。
・送迎の必要な方は、ご遠慮なくご連絡ください。

編集後記

「ともしび通信 86号」(クリスマス号)をお届けします。教会では、クリスマス特別企画として、コンサートをはじめ4つのプログラムを開催します。ぜひクリスマスは、教会へ足をお運びください!



単立 町田バプテスト教会

町田市つくし野 2-31-4
042-796-3822

●<http://goodnews194.com>

●[mail:machida@church.email.ne.jp](mailto:machida@church.email.ne.jp)



愛の矛盾

牧師室より 松本俊雄 牧師



私たちの愛には矛盾があります。それは自分が受ける愛は、相手に完全な愛（無限の愛を求めますが、自分が相手に与える愛は、不十分限界があっても）でも仕方がないと思う事です。これでは、どこまで行っても本当の解決にはならないことを認めざるをえません。

聖書には「愛は決して絶えることはありません。（1コリント人への手紙13章8節）」とあり、これは神の愛は完全であることを表しています。

それは、イエス・キリストは神であるのに、人間を愛するゆえに、2000年前、預言の通り私たち人間の罪の身代わりとして、クリスマス之夜、十字架にかかるためにこの世に人として誕生されました。そして、すべての人の罪の身代わりとして、十字架で死なれ、信じる者の罪を赦し、永遠のいのちを持つ者とされることを約束されました。

それから今まで数えきれない人々がイエス・キリストを信じ、罪赦され、永遠のいのちが与えられ、神の無限の愛に生きる者に変えられてきました。

今年のクリスマス、教会に集われ、神の無限の愛を表すために誕生されたイエス・キリストを知り、神の無限の愛を持たれますことを願っています。

Voice Of Chapel 加藤信行 伝道師

肌寒い季節になってくると、ふと思い起こされる幼い時の記憶があります。夜遅い時間帯、雑沓の音が溢れる中、突然耳に飛び込んでくるオルゴールのような高いメロディー。

それはそこ百貨店に設置されていた時計塔が、時刻を知らせる自動演奏でした。ただ音楽が流れるだけでなく、文字盤に仕掛けがあって、かわいらしい機械仕掛けの人形たちがダンスと楽器演奏を披露していました。曲は「小さな世界」。当時、そこがディズニーランドの人氣アトラクション「イツ・ア・スモールワールド」のスポンサーだった関係で設置をされていたようです。

寒さが厳しくなる中、どうしても見たいと両親にねだり、時間が来る



までじっと「待っていた」と思います。そして流れてくる音楽に興奮し、すごいね、と振り返った時に目に映った両親のほほえみ、それは気温とは裏腹に本当に暖かい記憶です。

教会では、毎年クリスマスを待ち望む思いをもって1ヶ月ほど前からアドベントを行います（今年は12月3日から）。救い主の誕生という厳粛さと同時に、「待ち望むことの喜び」を味わえる期間であり、待ちわびる時間です。

この冬、多くの皆様と共に、心温まるクリスマスの体験の数々を記憶に残す事ができればと心から願っています。

「私は切なる思いで主を待ち望んだ（詩篇40篇1節）」

よみがえる「待つ喜び」

私的映画批評

「幸せな

ひとりぼっち」

2015年

スウェーデン作品

松本勇哉

半年前に最愛の妻ソーニャを亡くしたオーヴェは、43年勤務した鉄道局から突如解雇される。しかも、気難しく短気なため、友達はずいぶん少い。そこでオーヴェは妻の後を追うことを決意する・・・が、オーヴェの周りに変化が。

この作品、現在と過去の回想が交互に展開され、オーヴェに隠された謎が少しずつ明らかになっていく構成となっている。オーヴェの家の作り手の理由とは。妻ソーニャはどんな人だったのか。そして2人に何があったのか。その全てが、観客に明らかになるとき、作品の中でオー



ヴェも気づく。誰のおかげで、死のうと思っている気難しい自分に人が集まってくるのか。

そしてオーヴェは対照的な歩み始める。最後の教会の場面を見てほしい。文字通りの「幸せなひとりぼっち」が広がる最高のシーンとなっている。

「あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ」とは聖書の言葉だ。難しいし何よりも勇気がいる。だが、隣人の勇気を後押しするのは実は難しいのではないのかもしれない。エンディングの冬空にそんなことを思った。

★この映画をオススメする人★

最近怒ってばかりだなと感じる人
スウェーデンの5人に1人が見た映画に興味がある人

婦人会リレー
アナタに出会えて嬉しい



玉木 美智子

学生時代同じ学科だったOさんは器械体操部に所属し肩がどっしりした大柄な人でした。実家が救急病院で6人姉妹の末っ子のOさんとは卒業後同じ大学図書館に就職することになり仲良くなりました。クリスマスチャ

ンだった彼女はシエルフリーディング時にはいつも賛美歌を歌っていました。1年半ほどして教会の図書の仕事がしたいからと移っていきましたが時々会ったりしてお互いに結婚してからもそれぞれの家庭を訪ねあったりしていました。

48歳の時に、彼女は突然看護師を目

指すからと専門学校を受験し、同じ時期に私の主人が直腸がんで単身赴任先から戻ってきて入院することになり、病院を彼女から紹介してもらいました。

彼女の実習はとても大変で卒業できるかわからないと時々聞いていました。4年数か月過ぎた4月初めにとても嬉しそうに看護師試験に合格したとの報告を受けました。私は主人が亡くなって2週間くらい経ったばかりで友人達には知らせないままだったのですが、そう告げると彼女はすぐに訪ねてきてくれ手を取って祈ってくれました。

それから3年半して私は受洗しました。Oさんあの時はありがとう。

シリーズ
私のお気に入り

My favorite



中岡 明寛

社会人になるまで自分が歌ったときの自分の声が嫌いでした。

それが、ふとしたきっかけで、アマチュアの合唱団に入りました。高校時代に合唱コンクールの課題があった程度で、全くの素人からのスタートで、かれこれ7年ほど活動を続けています。

合唱は、自分1人がうまく歌えば良いというものではありません。同じパート内での調和、他のパ

ートとのハーモニー。周りの音を聴き、自分もその音と共鳴する。その結果、1人1人の歌が共鳴によって大きな響きとなります。

私のボイストレーニングをしてくれた先生から、演奏会などの舞台で歌う時に「無の境地となる感覚で歌う」というアドバイスがあります。

それは、祈りにも似た行為といえるのかもしれない。祈りと歌は、根源的には繋がっているからでしょう。そんな事を考えながら、教会奉仕で賛美歌を歌い、歌を通じて神に祈りを届けています。